



各 位

平成19年11月2日

会 社 名 ニ チ ア ス 株 式 会 社  
代 表 者 取 締 役 社 長 川 島 吉 一  
コ ー ド 番 号 5 3 9 3 (東 証 市 場 第 一 部)  
問 合 せ 先 責 任 者 取 締 役 管 理 本 部 長 高 木 慶 一  
T E L (総務チーム) 03-3433-7251

(訂正)「弊社の住宅用軒裏天井および耐火間仕切壁の取替・改修等

の費用見積りに関するお知らせ」の一部訂正について

11月1日午後7時35分に開示いたしました「弊社の住宅用軒裏天井および耐火間仕切壁の取替・改修等の費用見積りに関するお知らせ」について内容に一部不適切な記載がありましたので下記のとおり訂正するとともにお詫び申し上げます。

#### 記

訂正部分には下線を引いております。

#### <訂正前>

なお、住宅用軒裏天井準耐火30分につきましては、施工済み物件の大部分に使用されていた認定番号について、公的機関での耐火性能評価試験で準耐火性能が確認されました。これにより施工済み物件約60,000棟の軒裏天井の取替、改修の必要性が低くなりますので、費用見込み額には含めておりません。

今後、各納入先様との間で、現場の状況、具体的な工法等の精査を進めますので、これにより見込み額が増減する可能性があります。

#### <訂正後>

なお、住宅用軒裏天井準耐火30分につきましては、施工済み物件の大部分に使用されていた認定番号について、指定性能評価機関での準耐火性能試験の一部が終了しました。最終の耐火性能は公式な評価を経て後日確認される予定です。

現時点では上記見込み額には住宅用軒裏天井準耐火30分にかかわる施工済み物件約60,000棟の軒裏天井の取替、改修等の費用は見込み額には含めておりません。

今後、30分準耐火性能認定試験の結果ならびに各納入先様との間で進める現場の状況、具体的な工法等の精査により見込み額が増減する可能性があります。

訂正後の文章を添付いたします。なお、添付しております文章のうち訂正後の部分に下線を引いております。

各 位



平成19年11月2日

会 社 名 ニ チ ア ス 株 式 会 社  
代 表 者 取 締 役 社 長 川 島 吉 一  
コ ー ド 番 号 5 3 9 3 (東 証 市 場 第 一 部)  
問 合 せ 先 責 任 者 取 締 役 管 理 本 部 長 高 木 慶 一  
T E L (総務チーム) 03-3433-7251

弊社の住宅用軒裏天井および耐火間仕切壁の取替・改修等の費用見積りに関するお知らせ

10月30日付で「弊社住宅用軒裏天井および耐火間仕切壁の一部認定の不正な取得について」お知らせしました件につきまして、該当品の取替・改修等に要する費用として、現時点で約300億円を見込んでおります。

住宅用準耐火45分および60分の約40,000棟の軒裏天井、乾式耐火間仕切壁（ファイアータイト）約550件および乾式耐火間仕切壁（ニチアス耐火ウォール）約200件に対し、当社の実績、補修方法等を勘案の上、約300億円を見込みました。この金額を当期中間決算において特別損失に計上する予定です。

なお、住宅用軒裏天井準耐火30分につきましては、施工済み物件の大部分に使用されていた認定番号について、指定性能評価機関での準耐火性能試験の一部が終了しました。最終の耐火性能は公式な評価を経て後日確認される予定です。

現時点では上記見込み額には住宅用軒裏天井準耐火30分にかかわる施工済み物件約60,000棟の軒裏天井の取替、改修等の費用は見込み額には含めておりません。

今後、30分準耐火性能認定試験の結果ならびに各納入先様との間で進める現場の状況、具体的な工法等の精査により見込額が増減する可能性があります。

以上